

# 令和7年度浜松市立篠原小学校 学校評価報告書

## 1 令和7年度の取組

【学校教育目標】心と心が響き合う学校 ～自分や友達のよさを知り、共に高め合う子～

	【徳】にこにこ	【知】きらきら	【体】ぐんぐん
目指す子供像	自他のよさを大切にする子	主体的に学び合う子	粘り強くチャレンジする子
重点的な活動	・ 自己を見つめる道徳科授業 ・ 子供主体の特別活動	・ 主体的に学習に取り組むための授業計画 ・ 学びを深める対話活動	・ 課題を意識し、次に生かすための振り返り ・ 粘り強く取り組むぐんぐんカードの活用

## 2 自己評価

### ○ 児童の評価

※「とても思う」と「思う」と回答した割合(%)

R7

R6

R5

【徳】 にこにこ	進んで挨拶をしている。	74.0	78.6	80.4
	自分にはよいところがある。	78.2	78.9	79.3
	友達のよさを知ろうとしている。	84.3	89.4	87.1
	友達と関わったり、協力したりすることは、楽しい。	93.4	94.8	93.6
	ルールやマナーを守って生活している。	86.6	85.6	90.0
【知】 きらきら	授業は、楽しく、よく分かる。	82.4	84.2	83.2
	授業で相手の話をしっかり聞いたり、自分の考えを伝えたりしている。	76.8	83.0	81.9
	めあてに向かって、学習に取り組んでいる。	84.0	84.2	84.7
	授業中にタブレットをうまく使って、学習に取り組んでいる。	91.1	89.7	91.8
	進んで家庭学習(宿題)に取り組んでいる。	84.5	87.2	84.4
【体】 ぐんぐん	失敗を恐れなくて、挑戦している。	76.3	75.2	72.9
	最後まであきらめずに粘り強く取り組めた。	83.6	84.0	81.8
	外で元気に遊んだり、運動したりしている。	72.3	80.7	73.3
	「早寝、早起き、朝ごはん」ができています。	79.1	78.7	79.5
生徒指導・家庭 地域との連携	クラスは楽しく安心できる場所だ。	87.1	84.8	84.8
	先生は、よく話を聞いてくれて、相談しやすい。	88.0	88.6	88.6
	家の人と学校の話をよくする。	80.1	82.3	79.8
	地域の人自分たちをよく見守ってくれる。	87.4	86.6	87.2

### ○ 保護者の評価

R7

R6

R5

【徳】 にこにこ	子供は、進んで挨拶をしている。	71.2	69.7	70.8
	子供は、自分にはよいところがあると感じている。	91.4	88.9	90.5
	子供は、友達のよさを知ろうとしている。	93.8	86.3	92.7
	子供は、友達と関わったり協力したりすることを楽しいと感じている。	96.6	94.6	96.3
【知】 きらきら	子供は、ルールやマナーを守って生活している。	91.0	90.4	91.0
	子供は、授業が楽しく、よく分かると感じている。	72.7	73.8	76.9
	子供は、学校で友達と関わりながら、自分の考えを広げている。	91.2	89.7	90.2
	子供は、授業のめあてを意識して、学習に取り組んでいる。	72.0	73.6	72.8
	子供は、タブレットを効果的に使って学習している。	77.1	75.2	81.8
	子供は、自ら家庭学習に取り組む習慣が身についている。	57.5	59.4	61.5
【体】 ぐんぐん	子供は、挑戦する気持ちが育っている。	91.9	74.0	73.0
	子供は、最後まであきらめずに粘り強く取り組むことができる。	69.5	69.6	67.2
	子供は、外で元気に遊んだり、運動したりしている。	73.1	74.4	75.0
	子供は、早寝、早起きをして朝ごはんを食べるなど規則正しい生活ができています。	85.3	84.7	86.0
生徒指導・家庭 地域との連携	学校は、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に取り組んでいる。	82.3	82.5	82.1
	学校は、面談や教育相談などが充実し、気軽に相談しやすい。	80.8	80.4	77.9
	子供と学校の話をよくする。	87.6	84.8	87.1
	地域の人自分たちを見守ってくれる。	93.6	75.7	75.3
	学校は、学校(学年)だより、ホームページ、ブログ、さくら連絡網等で積極的に情報を発信している。	93.6	92.5	92.2

○ 教職員の評価 ※85以上A、70～84B、55～69C、54以下D

R7

R6

R5

こじゆい 【徳】	進んで挨拶する子が育っている。	D36.8	D 38.2	C57
	自分のよさを大切にすることが育っている。	A92.1	A 85.3	A85
	友達のよさを認めようとする子が育っている。	A97.4	A 94.1	A95
	人との関わりを大切にすることが育っている。	A89.5	A 91.2	A92
	(教師が)子供に自己を見つめる道徳科授業になるように授業を行った。	A94.6	A 88.4	A95
	(教師が)子供主体になるよう特別活動の指導をした。	A91.9	A 94.1	
まなぶ 【知】	子供は、自ら進んで取り組もうとする主体的な態度が育ってきている。	B78.9	A 88.2	A89
	(教師が)子供が主体的に学びに向かえるような単元構想を立てた。	A100	A 100	A99
	(教師が)単元で付きたい力を明確にして授業を進めた。	A97.3	A 96.7	A95
	(教師が)対話的な学習を充実させた。	A91.9	B 80.7	A95
	(教師が)キャリア教育を意識した授業を行った。	C64.8	C 66.7	C68
	(教師が)ICTを積極的に活用して授業を行った。	A86.1	B 70.5	A86
ぐんぐん 【体】	進んでチャレンジする子が育っている。	B83.3	A 85.3	A85
	最後まで粘り強く取り組める子が育っている。	B73.0	B 73.5	B82
	(教師が)子供が授業の中で課題や目標を意識し、次に生かすための振り返りができるように指導した。	A91.9	A 87.1	A89
	(教師が)子供が行事や児童会活動の中で課題や目標を意識し、次に生かすための振り返りができるように指導した。	A89.2	A 94.1	A89
	(教師が)子供が粘り強く取り組むために、ぐんぐんカードを効果的に活用した。	A94.6	A 85.2	A88
生徒指導・家庭地域との連携	いじめの未然防止・早期発見・早期対応に取り組んだ。	A100	A 100	A99
	子供や保護者の話をよく聞き、相談や面談を行った。	A100	A 97.1	A95
	便りやホームページ、ブログ等で情報を発信した。	B78.4	B 76.4	B75
	外部講師や地域の方を活用して授業(活動)を行った。	A89.2	A 85.2	A92

3 アンケート結果から

(1) 【徳】の項目

- ① 「進んで挨拶をしている」については、児童、保護者、教職員ともに低かった。日常の様子から、挨拶できる子とできない子がはっきり分かれている。また、声が小さな子も多く、挨拶をしていることを気づかれにくい子も多くいる。
- ② 「友達と関わったり、協力したりすることは楽しい」と回答した児童は93.4%、保護者は96.6%と高い水準であった。授業の中に積極的に関わる場を多く設定したことで、友達との学び合いやグループ活動の楽しさを児童が実感し、その楽しさを家庭に伝えていたと考える。

(2) 【知】の項目

- ① 「進んで家庭学習に取り組んでいる」については、児童と保護者の割合に大きな違いがある。家庭学習の考え方、さらに、学力観について親と子で認識の違いがあると考えられる。
- ② 「授業は、楽しく、よく分かる(82.4%)。」と児童の回答が引き続き高い水準である。全教職員が「子供が主体的に学びに向かえるような単元構想を立てた。(100%)」と関連して、児童にとって魅力的な授業が展開できていると考えられる。

(3) 【体】の項目

- ① 「最後まであきらめずに粘り強く取り組むことができる」の回答から児童と保護者とは「頑張る」に対して認識の違いがあることが推察される。また、子供が大人に頑張りを認められる環境づくりが求められているとも考えられる。
- ② 「外で元気に遊んだり、運動したりしている」と答える子供・保護者が年々わずかながら減っている。なわとびなど継続的に取り組む仕組みを整備する手立てを考えたい。

(4) 生徒指導・家庭地域との連携の項目

- ① 「クラスは楽しく安心できる場所だ」と思う児童が増えて、学校に前向きなイメージを持っている子が多いと考える。
- ② 「学校は、面談や教育相談などが充実し、気軽に相談しやすい」と思う保護者が増えてきた。「個別面談」「日常の連絡」等の取り組みを行った成果がでてきた。
- ③ 「地域の方は見守ってくれる。」の肯定的な回答が増えてきた。CSを中心とした日常の取り組みの成果が表れた。

#### 4 学校運営協議会委員による評価

2月4日（水）に開催した学校関係者評価委員会（学校運営協議会）において、自己評価結果、考察及び改善方策について委員に報告。委員からは以下のような意見があった。

- いじめ防止の取り組みについて、教職員全員が「未然防止に取り組んでいる」と評価している。学校が行っている「未然防止・早期発見・早期対応」の具体的な取り組みについて、保護者にもっと積極的に発信してよい。
- 子供に挑戦する気持ちは育っているが、「最後まで粘り強く」取り組むことが課題になっている。挨拶運動なども、すぐに動いてくれるが運動が継続しないので、良い活動は継続して行えると良い。
- 地域の方の見守り、学校の情報発信についての保護者の評価が高いのは評価できる。先生方には、外部講師や地域の方をもっと気軽に活用してほしい。
- 先生方の研修の様子などをもっとブログなどで発信してほしい。先生たちも努力している様子が保護者にも見えたほうが良いし、子供たちへの良い刺激になるのではないかな。

#### 5 今後の改善方策

学校関係者評価を受けて

- (1) 学校は、誰もが安心できる環境のもと、自ら学習を調整して粘り強く取り組んだり、他者と協働して課題を解決したりする場だと捉え、学校教育目標「心と心が響き合う学校 ～自分や友達のよさを知り、ともに高め合う子～」を達成していく。
- (2) 校長の経営方針として、以下の5点を重視していく。
  - ① 一人一人を大切にする発達支援教育を学校経営の基盤とする。
  - ② 夢と希望を持ち、自分らしさを大切にするキャリア教育を推進する。
  - ③ 「楽しい」「わかる」「できる」授業を目指し、学級経営の基盤とする。
  - ④ 「ありがとう」と互いを尊重し合いながら、主体的に行動する学校を推進する。
  - ⑤ 明るく人間味あふれる「やってみよう」と挑戦する職場、「ありがとう」と互いに敬意を持ち合う職場を作る。
- (3) 今後も、いじめ防止に向けて、初期対応を大切にし、チーム体制での取組（聞き取り、事実確認、指導の取り組み）を継続して行うとともに、子供へのアフターフォローも大切にしていける。また、日常のいじめ防止に向けた取組や授業の様子を発信することで、保護者に安心感をもってもらおう。
- (4) 「やってみよう」「ありがとう」を合言葉に、子供がより主体的に取り組むことができるよう、「知」「徳」「体」のそれぞれで重点活動を設定し、活動後には自分の活動を振り返ることで、主体性を育む。
  - ① 「知」（きらきら）…『意図的な自己選択・自己決定の場の設定』  
『学びを広げ、深める対話活動の実現』
  - ② 「徳」（にこにこ）…『自己を見つける道徳教育の充実』  
『子供主体の特別活動の工夫』
  - ③ 「体」（ぐんぐん）…『課題を次につなげるための振り返りの工夫』  
『粘り強く取り組むぐんぐんカードの活用』
- (5) 来年度もコミュニティ・スクールを活用して地域の教育資源（人・もの・こと）を学習に生かすために、地域の人と保護者が教育活動に参画できる機会を多く設け、地域や家庭と連携して教育活動を推進する。